

三四九一番

柳やなぎこそ 伐きれば生はえすれ 世よの人のひと 恋こひに死しなむ
を いかにせよとそ

三四九二番

小山田をやまだの 池いけの堤つつみに さす柳やなぎ 成なりも成ならずも
汝なと二人ふたりはも

三四九三番

遅速おそはやも 汝なをこそ待またため 向むかつ峰をの 椎しひの小枝こやでの
逢あひは違たがはじ

三四九四番

子持山こもちやま 若わかかへるての もみつまで 寝ねもと我わは
思もふ 汝なはあどか思もふ